2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	鍼灸スポーツ学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	東医診断学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	前期	教室名	502教室
担 当 教 員	花原　容成	実務経験とその関連資格				

《授業科目における学習内容》

東洋医学的な診断方法、病理状態の理解、四診をベースに東洋医学的診断を学ぶ。
東洋医学の考え方にもとづいた病気のとらえ方や診断について学ぶだけでなく、臨床ではどのように治療に結び付けていくのかという理解を深める授業である。

《成績評価の方法と基準》

1. 定期試験:100%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

教科書:『新版　東洋医学概論』 東洋療法学校協会 編 (医道の日本社)

《授業外における学習方法》

予習:講義予定部分の教科書の確認。
復習:講義箇所に関する教科書の熟読・ノート整理。
共通:授業内で紹介した古典や専門書の通読。

《履修に当たっての留意点》

1年生に学んだ東洋医学の基礎がいたるところに入り込んできます。それらの復習をするとともにさらに深い東洋医学について学んでいきますのでがんばりましょう。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	四診(望聞問切)について概説できる。	教科書	シラバス確認。 講義予定部分の教科書の確認。
		各コマにおける授業予定	四診の概要(望・聞・問・切)		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	望診について概説できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。五行色体表の記憶。
		各コマにおける授業予定	望診①(神・色・形・態)		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	舌診について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。五行色体表の記憶。
		各コマにおける授業予定	望診②(舌診:舌質)		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	舌診について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。五行色体表の記憶。
		各コマにおける授業予定	望診③(舌診:舌苔)		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	望診について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。五行色体表の記憶。
		各コマにおける授業予定	望診④(まとめ)		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	声診について概説できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。五行色体表の記憶。
		各コマにおける授業予定	聞診①(声診)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	気味について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。五行色体表の記憶。
		各コマにおける授業予定	聞診②(気味)		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	聞診について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。五行色体表の記憶。
		各コマにおける授業予定	聞診③(まとめ)		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	問診について概説できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。五行色体表の記憶。
		各コマにおける授業予定	問診①(十問歌)		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	問診の進め方について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。五行色体表の記憶。
		各コマにおける授業予定	問診②(問診の進め方)		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	主訴、基本的問診事項について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。五行色体表の記憶。
		各コマにおける授業予定	問診③(主訴、基本的問診事項)		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	その他問診事項について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。五行色体表の記憶。
		各コマにおける授業予定	問診④(その他の問診事項)		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	問診について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。五行色体表の記憶。
		各コマにおける授業予定	問診⑤(まとめ)		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	切診、腹診について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。五行色体表の記憶。
		各コマにおける授業予定	切診①(反応、難経系腹診)		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	腹診、経穴診について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。五行色体表の記憶。
		各コマにおける授業予定	切診②(傷寒論系腹診、経穴診)		

2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	鍼灸スポーツ学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	東医診断学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	前期	教室名	502教室
担 当 教 員	花原　容成	実務経験とその関連資格				

《授業科目における学習内容》

東洋医学的な診断方法、病理状態の理解、四診をベースに東洋医学的診断を学ぶ。
東洋医学の考え方にもとづいた病気のとらえ方や診断について学ぶだけでなく、臨床ではどのように治療に結び付けていくのかという理解を深める授業である。

《成績評価の方法と基準》

1. 定期試験:100%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

教科書:『新版　東洋医学概論』 東洋療法学校協会 編 (医道の日本社)

《授業外における学習方法》

予習:講義予定部分の教科書の確認。
復習:講義箇所に関する教科書の熟読・ノート整理。
共通:授業内で紹介した古典や専門書の通読。

《履修に当たっての留意点》

1年生に学んだ東洋医学の基礎がいたるところに入り込んできます。それらの復習をするとともにさらに深い東洋医学について学んでいきますのでがんばりましょう。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	脈診について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。五行色体表の記憶。
		各コマにおける授業予定	切診③(脈診)		
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	切診について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。五行色体表の記憶。
		各コマにおける授業予定	切診④(まとめ)		
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	四診合参について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。五行色体表の記憶。
		各コマにおける授業予定	四診合参		
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	弁証論治について概説できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。五行色体表の記憶。
		各コマにおける授業予定	弁証論治		
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	八綱弁証について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。
		各コマにおける授業予定	八網弁証		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	気血津液弁証について概説できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。
		各コマにおける授業予定	気血津液弁証		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	気血津液弁証について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。
		各コマにおける授業予定	気血津液弁証		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	経絡弁証について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。
		各コマにおける授業予定	経絡弁証		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	経絡弁証について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。
		各コマにおける授業予定	経絡弁証		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	臓腑弁証について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。
		各コマにおける授業予定	臓腑弁証		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	臓腑弁証について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。
		各コマにおける授業予定	臓腑弁証		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	臓腑弁証について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。
		各コマにおける授業予定	臓腑弁証		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	臓腑間弁証について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。
		各コマにおける授業予定	臓腑間弁証		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	臓腑間弁証について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。
		各コマにおける授業予定	臓腑間弁証		
第30回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	前期で学んだ東洋医学について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。
		各コマにおける授業予定	総括		